

CEM news

Church Education Ministries

こんなテキストが欲しかった。

2009年09月12日に、第一回高校科テキスト編集委員会が召集されてから三年が経ちました。今日まで多くの紆余曲折を乗り越えて来れたのは編集委員のうちに、現場の教師から「こんなテキストが欲しかった」と喜んでいただけるものを作りたいという熱い思いが聖霊の導きによって与えられ、一致することができたからだと感謝しています。現在の編集作業状況では、本年末までに初年度分原稿の執筆と校正を完了し、2013年03月には新しいテキストを各教会にお届けできる予定です。

このテキストのどこが新しいのでしょうか。

その第一は、テキストの単価と在庫管理の合理化のため電子版方式（CD化）を採用したことです。それによって、従来品よりもテキスト単価を引き下げることを実現し、従来方式では経済的に無理であったフルカラーの参考資料等も記載できるようになりました。パソコンに不慣れた教師のために受注した分だけ従来のように紙に印刷し、簡易製本したものをお届けする予定です。その場合は注文くださった教会にその実費（コスト増）分をご負担願うこととなります。

その第二は、教師の実情に対応したテキストを目指したことです。このテキストを使用することで教師のスキルアップを可能にしました。従来の教師用テキストでは生徒用テキストに対する模範解答とそれを解説するものが中心でした。新しいテキストは初心者の教師が奉仕をしながら具体的な指導を受けられるようにしました。ベテラン

の教師には従来の聖書知識と聖書理解の上にさらなるスキルアップを促進できるようにしました。

その第三は、生徒の実情に対応できるテキストを目指したことです。従来のテキストの対象は継続して教会学校に出席し、ある程度の聖書知識を持っている生徒を対象にしたものでした。それは初めて出席した生徒にとって馴染めないものでした。関心が湧かない授業にはついていけません。この生徒が次週も続けて出席することを期待するのは困難でした。それとは逆に聖書の知識をさらに深めたいという、積極的で熟練した生徒にとってはいつも教科書通りの模範解答しか返ってこないことに満足できません。私たちはそれを生徒たちの実情として捉え、その必要に応えられる新しいテキストの「かたち」を追求してきました。

長い模索の末に辿り着いた結論は、ひとつの課に初級・中級・上級を備えることでした。大規模な教会学校では、ある学年をその成長のレベルに合わせて初級クラス、中級クラス、上級クラスに分けて、それぞれのクラスに、初級クラス用テキスト、中級クラス用テキスト、上級クラス用テキストを備えた所があります。それは理想的ですが日本の教会では現実的とはいえません。そのような分級クラスを構成している教会はほとんどありません。そこで、私たちはひとつの課に初級・中級・上級を同時に備えるという実現が非常に困難な課題に挑戦しました。その実を各教会に提供できるようになったことは主の恵みです。

千里キリスト教会 牧師 徳本 篤



お知らせ

☆ CEM の教材を使用して ☆ 高校科テキスト編集者より

☆ CEM の教材を使用して

高石聖書教会より CEM 教材を使用した感想をいただきました。

私の記憶のある限り、子どもの頃より使用させていただき、CS 教師となった今も続けて使用させていただいています。

教材は学年に沿って考えられており、テーマに沿って学ぶことができるので、聖書を教える点では、テキストがあることがまず感謝です。

クラスの前半は中高生が合同で短い礼拝（讃美など）の時を持ち、その後分級に別れて学びを開始します。全体を通して一時間位のもので作られているので、全てを行うことはできず教師用の中にもいろいろな課題が出ていますが、なかなか活用することが難しいのが現状です。

教材を通して子どもたちと共感しながら学びを続けることができます。また、聖書のいろいろな部分での学びとなっているので、自分一人で聖書を読むことが難しい子どもでも、いろいろと知ることができるので、いいなと思います。

現在中学科を担当し、juniors now を利用していますが、まとめで子どもたちの信仰の成長を確認する部分があり、改めて確認することができるので助かります。実際、直接確認することも大事ですが、文面にしてくださっていることで、子どもたち自身も考えることができているようです。

ただ、旧約の学びの時には聖書箇所が長かったり話が飛び飛びとなったりで理解することが大変だったり、質問の内容が突拍子もないことがあったりして、使うことが難しい部分もあります。また改訂がされておらず時代も少しずれているようにも感じます。写真も内容も現在とずれている部分があるので、改訂をしていただきたいです。

子どもたちの信仰成長のためには、短い時間でできる学びが大事なので、使い続けることができることが感謝です。

高石聖書教会 中学科 増尾ナオミ

☆ 高校科テキスト編集者より できること



厳しい現実の中で、日々生きている高校生を励ますにはどうしたらいいのでしょうか、彼らの救いや信仰のために何をすればいいのでしょうか。

教会学校で高校生と関わる。

キャンプで高校生と関わる。

高校生と一緒に食事をし、世間話をする。

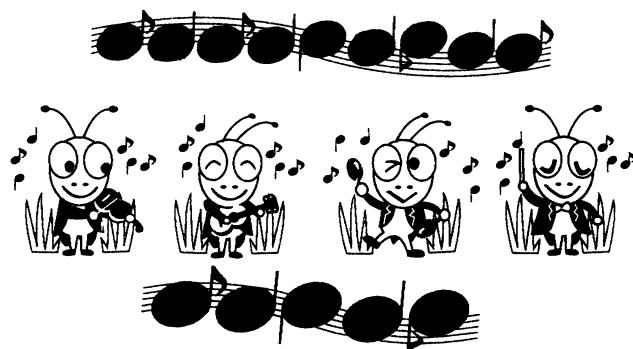
高校生と一緒にスポーツをし、汗を流す。

高校生と一緒に祈り、励まし合う。

これら一つ一つは大切にしていける必要のある働きであると私は信じています。けれども、さらに何かできるのではないだろうかと思い、新しいテキスト作りに携わらせていただいています。この働きが現在の状況に対する最善の策であるというわけではないかもしれませんが、それでも何らかのプラスになればと考えています。

新しいテキストを作るこの働きが、私たちの思いではなく、ただただ神から発し、神によつて成り、神に至るものとなりますように、お祈りください。

福音聖書神学校 竹田 満



尊い献金を心から感謝申し上げます。

2012年3月～2012年8月末

◇献金いただいた教会名（敬称略）

尼崎キリスト教会 石橋キリスト教会 石橋キリスト教会
教会学校 泉北キリスト教会 総持寺キリスト教会 高石
聖書教会 枚方キリスト教会 平野キリスト教会 武庫川

キリスト教会 星田チャペル婦人会 以上 10 教会

※CEM 献金をよろしくお願ひします。ご連絡いただければ郵便振り込み用紙をお送りいたします。